

プレスリリース

2015年12月14日
国境なき医師団 (MSF)

アフガニスタン：米国による病院空爆の死者数が 42 人に

アフガニスタン北部クンドゥーズで、国境なき医師団 (MSF) の外傷センターを破壊した 10 月 3 日の米国による空爆から 2 ヶ月。その間の徹底調査を経て、MSF は、死者数が少なくとも 42 人になったと発表した。

修正された死者数の内訳は MSF スタッフ 14 人、患者 24 人、その付添人 4 人（外傷センター内で患者の介護を行っていた親類）。これまでの MSF の発表では推定死者数は少なくとも 30 人としていたが、保有する記録、遺族の報告、患者・スタッフ・家族の証言を入念に見直し、12 月 12 日上方修正に至った。

残がい散乱する混乱した現場での死者数確認は困難を極めたが、多大な尽力により犠牲者の身元特定が行われた。空爆で全焼した中央病棟では、保管されていた医療アーカイブ、患者のカルテ、患者登録書類の一部が破損。また、この 2 ヶ月間に、病棟のがれきの間から新たな遺体が発見されていた。MSF スタッフ・患者・家族への聴き取り調査や、爆撃後に患者を移送した先の病院との照会などの綿密な確認作業を経て、死者数は少なくとも 42 人と修正された。

以上

本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平／趙 潤華

TEL：03-5286-6141／6153 携帯：090-5759-1983 FAX：03-5286-6124

E-mail: press@tokyo.msf.org <http://www.msf.or.jp>

メディア向けツイッターアカウント開設しました。  @MSFJ_Press